

# ネット等巻き付けによる飛散防止の設置例

クビアカツヤカミキリは防除によって被害を小さくすることが可能です



専用資材も利用  
幼虫が息をする幹部分に設置します。



農業用ネット資材の設置状況  
ネットの内部で交尾されないように固定を兼ねてテープ巻きしています。



廃棄漁網の活用  
丈夫なので繰り返し使います。



樹木の下部も対策  
いちばん太い主幹の下部に多く加害する傾向があります。ネット類で成虫を外に出られなくできます。また薬剤散布の際にもここを狙って処理します。



切り株も防草シートで被覆  
多発生で伐倒した切り株についても成虫の飛散を防止するために被覆します。肥料袋などでも可能です。



幼虫が多く生息している場合  
露出した根からフラスが発生しているような場合は広くネットを設置します。

【クビアカツヤカミキリに関するお問い合わせ】

サクラなど街路樹・庭木に関すること サステナブル社会推進課：088-621-2261

モモ・ウメなど農作物に関すること 県病害虫防除所：088-674-1954

## クビアカツヤカミキリの 情報提供にご協力をお願いします。

この虫は「クビアカツヤカミキリ」という**特定外来生物**で、  
幼虫がサクラやモモの樹を枯らします！！

↓こんな大きさ  
(体長2.5~4cm)



幼虫が大量に出すフンが目印です



幼虫のフン



# 被害がひろがると・・・

枯れ倒木や落枝の危険があります。 <学校・公園・並木道>  
付近に被害がひろがるのを予防するために伐採が必要になります。

モモ・ウメの果樹園  
公園・街路樹・学校  
文化財

甚大な農業被害  
「お花見」等ができなくなります。  
景観が悪くなります。



幼虫は木のなかで2年間成長します。  
そのあいだに穴だらけにします。

このようになる前に  
徳島県サステナブル社会推進課、  
県病害虫防除所、  
または、お住まいの自治体市町村窓口にご連絡ください。

・発見日時、発見場所、発見時の状況をお知らせください。  
可能であれば、写真を撮影してください。  
クビアカツヤカミキリは死んでいる場合であっても見つけた場  
合は連絡してください。



幼虫が排出したフラス

まちがしやすいフラスの例



他種のフラス

繊維状の木くずが多く見られる

# クビアカツヤカミキリの防除方法

## ◆ 成虫の対策 ◆

発生時期となる6月下旬からサクラ類をよく見廻り、発見次第**捕殺**します。梅雨  
時期は主幹下部でよく見付き、降雨のあった翌日の晴天日に発生の多い傾向が  
あります。梅雨明け後は動きが素早くなり、日中は樹幹内に潜んでいます。

## ◆ 幼虫の対策 ◆

- ✓ フラス(木くず)が排出される時期に、排出口  
からドライバーなどで樹皮を剥がしながら食  
入孔を探り、幼虫を発見次第、刺殺します。
- ✓ 樹皮を剥がした部分には、保護資材を塗布し  
ます。
- ✓ 食入孔を探索しても幼虫が奥深くにいるなど  
で発見できないときは、排出口にエアゾール剤(ロビンフッド)のノズルを突っ込み  
薬液を噴射します。



幼虫の刺殺



エアゾール剤の  
樹幹内噴射

効果的な方法を組み合わせて確実に防除しましょう。

幼虫の掘取り・針金などでの刺殺  
ネット等巻き付けによる飛散防止

ほかの場所にひろげない。

フラス排出孔への農薬注入  
樹幹への農薬の散布

農薬は登録の使用法を守りましょう。

被害木の伐採、処分  
切り株の封鎖



伐採した被害樹の切株  
右は悪い事例、抜根できない場合は、  
左のように地際で切断し、シート等  
で被覆する。

# ひろげない！ クビアカツヤカミキリ

公園、学校、庭、果樹園などでフラスや成虫を見かけたら、自治体の環境  
を扱う部署または緑地、農地を扱う部署にご一報下さい。  
また環境省地方環境事務所でも相談・報告を受けつけています。

クビアカツヤカミキリは法律で指定されている「特定外来生物」  
です。無許可で生きたままの持ち運びや飼育は違法です。